

箏曲部 定期演奏会

皆さんは、「箏(そう/こと)」という楽器に対してどんなイメージをお持ちでしょうか。もちろん、日本古来の楽器であり、例えば、宮城道雄が作曲した「春の海」は、正月によく聴かれる曲としてあまりにも有名です。現在は、音楽の授業において、箏などの和楽器の演奏も取り入れられています。

しかし、私たちが想像している以上に、箏曲は実に幅広いジャンルを網羅しています。西高箏曲部も、講師の先生方の熱心な御指導を仰ぎながら、多くの曲を練習しています。

4月24日(日)、山形市中央公民館大ホールにおいて、山形西高等学校箏曲部 第31回定期演奏会 が開催されました。3年生5名、2年生13名、計18名の部員が一丸となって、この演奏会の成功に向けて練習してきました。毎年この演奏会を楽しみにしてくださっている市民の方々も多く、今回も多くのお客様に御来場いただきました。

日本の伝統的な作風をもつ曲だけではなく、現代の作曲家がつくったポップスの雰囲気をもつ曲や、よく知られた名曲を箏の合奏用にアレンジした曲など、全部で8曲を暗譜で演奏しました。部員全員での合奏、学年ごとのアンサンブル、また、照明にも工夫を凝らし、耳で聴いて、目で見て楽しむことができた演奏会でした。

演奏を聴いてくださった皆様、大変ありがとうございました。

